

旅行報告書

会派名 無所属

会派代表者 谷口真次 様

平成27年5月28日

| 旅行者氏名 | 旅行者氏名 |
|-------|-------|
| 谷口真次 | |
| 藤本寿子 | |
| 田中睦 | |
| | |
| | |

下記の用務のため旅行しましたので報告いたします。

1 期間 平成27年5月20日(土曜日)から 1日(向)
平成 年 月 日(曜日)まで

2 旅行先及び用務の概要

| 旅行先 | 用務の概要 |
|----------|--------------------|
| 熊本県庁(赤池) | 連合熊本推薦議員国会議初日総会 |
| | 民進党及び連合熊本と共催の「政友会」 |
| | |
| | |

無限 21 会派視察報告書

参加者名・・谷口眞次・藤本寿子・田中 睦 計 3 名

視察先及び内容

日時・・27 年 5 月 23 日 15 時～17 時

会場・・熊本交通センターホテル（3F・6F）

県下 50 名程の民主・連合の推薦議員が参加し、3 階会場において、15 時から民主党本部から高木義明衆議院議員による「27 年度第 1 回政策セミナー・政治塾」を開催され国の現状と今後の対応について 1 時間の講演会に参加した。

16 時から連合熊本会長をお招きし、6 階会場において、26 名の連合推薦議員が参加し添付の「連合熊本議員団会議第 9 回総会の式次第」に沿って 2014 年度の活動報告及び会計報告、2015 年度の活動計画や予算案などを審議し可決した。

報告者 谷口眞次

民主党熊本県総支部連合会 時局講演会

—平成 27 年度第 1 回政策セミナー・政治塾—

2015 年 5 月 23 日 午後 3 時～ ・熊本交通センターホテル

講師プロフィール



高木義明 (たかき よしあき) 衆議院議員 (9 期目)
(1945 年 12 月 22 日 山口県下関市生)

■ 役職 党国会対策委員長
党長崎県連代表

■ 経歴 党代表代行
文部科学大臣
党選挙対策委員長

■ 職歴 三菱重工業株式会社

■ 趣味 バスケットボール・手料理

旅行報告書

会派名 無限21

会派代表者 谷口眞次

平成27年6月5日

| 旅行者氏名 | 旅行者氏名 |
|-------|-------|
| 谷口眞次 | 藤本壽子 |
| 田中睦 | |
| | |
| | |
| | |

下記の用務のため旅行しましたので報告いたします。

- 1 期間 平成27年6月1日(月曜日)から
平成27年6月1日(月曜日)まで

- 2 旅行先及び用務の概要

| 旅行先 | 用務の概要 |
|-----|--------------|
| 熊本市 | 社会民主党推薦議員団総会 |
| | |
| | |
| | |

無限21会派視察報告書

熊本地方議員団会議総会

参加者・谷口眞次、藤本寿子、田中 睦

日時・平成27年6月1日 16時～

場所・熊本県労働会館2階

幹事長の西岡誠也の開会挨拶の後、議員団長西 聖一熊本県議が挨拶し、来賓として中島隆利社民党熊本県連合代表が国会の情勢、4月の熊本県議選と市議選についての総括を報告全国的には若干議席を落としたが熊本は12名の推薦候補者全員が当選し健闘した、この流れを次期参議院選挙につなげたい。

他にも26年度の経過報告、活動報告がなされ平成27年度の活動計画、及び予算の提案等がなされ可決した。

又、役員改正については、団長の東 すみよが勇退したため、熊本市議の村上 博、副団長の平野みどりが勇退したため、熊本県議の岩田 智子が提案され全会一致で同意し就任した。

意見交換会の中で各支部から今後の県本部との連携、定期的な問題点の会合、各後援会の充実、各議会での政策提案や労働法・戦争法・年金法などの改悪反対などが議論されて。

平成27年6月5日

報告者・谷口眞次

旅行報告書

会 派 名 無限21

会派代表者 谷口眞次

平成27年8月3日

| 旅行者氏名 | 旅行者氏名 |
|-------|-------|
| 谷口 眞次 | |
| 藤本 壽子 | |
| 田中 睦 | |
| | |
| | |

下記の用務のため旅行しましたので報告いたします。

- 1 期間 平成27年7月21日（火）から
平成27年7月23日（木）まで

2 旅行先及び用務の概要

| 旅行先 | 用務の概要 |
|----------|--|
| 沖縄県名護市 | マルチメディア館 ・ 名護市の予算概要について ・ 金融特区の取組みについて |
| 沖縄県国頭郡東村 | 東村役場 ・ 定住化促進支援対策について |

無限21会派行政視察報告書

報告者 田中 睦

日 程 平成27年7月21日(火)～23日(木)

視察場所 名護市マルチメディア館～みらい館
国頭郡東村役場

参加者 谷口眞次、藤本壽子、田中睦：無限21、野中重男、高岡朱美：日本共産党
視察の概要

1 名護市マルチメディア館

対応者 名護市議会事務局・荻堂盛行次長、神谷智子庶務課長

企画調整課・金城秀郎課長、金融・情報特区推進室・林頭久主査

(1) 名護市の予算概要について

主に米軍再編交付金の不交付に伴う対応について報告する。

米軍普天間基地の移転先とされる名護市に、平成21年に新基地建設反対の稲嶺市長が誕生した。同年12月、国は米軍再編により負担が増える自治体に支給する「再編交付金」の不交付を通知した。

○名護市地域振興推進事業のみが再検討して中止となったが、現在、不交付による影響はない。交付金に頼らない財政運営に努めている。

事業をコンパクトにしたり、優先順位を付けて行うようにしている。

- ・市道整備事業…防衛補助金や調整交付金を使う
- ・小中一貫校運動場整備事業…一部を文科省の補助事業として実施
- ・体験学習施設建設事業…地域活性化交付金事業への振替え
- ・交流プラザ整備事業…一括交付金事業を活用 など

(2) 金融特区の取組みについて

・これまでの沖縄県や名護市の産業は、観光業や農林水産業が中心だった。しかし、沖縄は台風の影響を受けやすいので、自然を相手にした産業は不利である。また、本土から遠いため製造業も運賃がかかるなど不利な要素が多い。そこで、天候や地理的条件に左右されないIT企業や金融企業を誘致し、雇用の創出に努めている。

・名護市では平成14年に「金融・情報特区」の指定を受け、各種施設を建設してきた。現在、34社が入り、1000人以上の雇用を生んでいる。将来は2500人の雇用を目指している。



2 東村役場

対応者 議会事務局・平田尚樹事務局長

企画観光課・宮田健次課長補佐、宮城真悟主事

◎ 定住化促進支援対策について

(1) 東村概要 ・人口 約 1,900 人、基幹産業は農業

- ・「花と水とパインの村」をキャッチフレーズにした村づくり
- ・体験型観光の推進

(2) 定住促進計画と事業

① 平成 22 年 3 月 定住促進検討委員会を設置

11 月 ターゲットを子育て世代と捉えた定住促進計画を策定

② 7つの定住促進事業の推進

○ 特に高い評価を受けているのが、子育て支援策

- ・ 高校生まで医療費無料化とした「医療費助成事業」や「出産祝い金」、「チャイルドシート等貸出事業」、給食費 2 分の 1 助成など

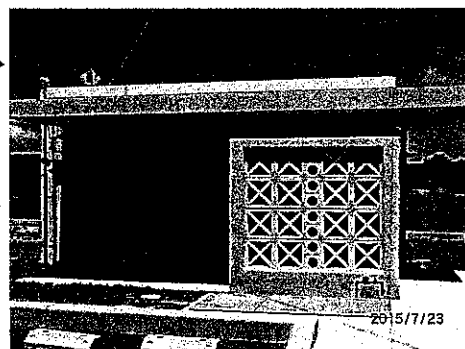
○ 子育て世代の定住推進のための定住促進住宅を整備

- ・ 1 戸建てタイプ 12 棟
アパートタイプ 21 戸

○ 農林水産業の振興としての各種補助金・給付金制度

○ ほかにも、農業や観光業での雇用の創出につながるよう取り組んでいる。

商工会の婚活事業にも村が支援している。



【果実生産額の 88%を占めるパイナップル】

《感想》

東村のみならず、日本の地方都市の人口減少に伴う問題は共通するものだろう。水俣ならではの、環境や観光を中心にした町づくり・雇用の創出に知恵を出し合っていく必要があることを改めて感じた。

旅行報告書

会派名 無限2/

会派代表者 谷口真次 様

平成28年 / 月24日

| 旅行者氏名 | 旅行者氏名 |
|-------|-------|
| 谷口 真次 | |
| 田中 睦 | |
| | |
| | |
| | |

下記の用務のため旅行しましたので報告いたします。

1 期間 平成28年 / 月6日(水曜日)から 1日間
平成 年 月 日(曜日)まで

2 旅行先及び用務の概要

| 旅行先 | 用務の概要 |
|-------------------------------|------------|
| 熊本県 ANA クラウンクラブ ホテル熊本ニースカイ | 連合熊本 新春商演会 |
| | |
| | |
| | |

無限 21 議員団新春講演会参加報告書

平成 28 年 1 月 6 日 16 時 00 分～17 時 15 分

ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

参加者・谷口眞次

田中 睦

日本労働組合総連合会熊本県連合会（連合熊本）主催の新春講演会に参加しました。

講師として連合本部 総合政治局長 井村和夫氏により目次にあるように 8 項目について講演を受けた、特に第 24 回参議院選挙については、国政選挙での投票率は年々低下傾向であり、年代が低くなるほど投票率も低くなっています。前回の衆議院選挙の 20 歳代の投票率は全世代の平均投票率より 20 ポイント以上も低い結果であります。

今回の選挙権年齢引下げにあたっては、若者を中心に、政治、選挙に関する意識を高めるために体験学習の実施や、学習指導要領ならびに社会科や公民科の教科書における主権者教育を充実させていくことが必要ではないかと改めて感じた。あらゆる場で若者が政治を変える！事の重要性を伝えていきたい。

旅行報告書

会派名 無限21

会派代表者 谷口眞次

平成28年2月22日

| 旅行者氏名 | 旅行者氏名 |
|-------|-------|
| 谷口眞次 | |
| 藤本壽子 | |
| 田中睦 | |
| | |
| | |

下記の用務のため旅行しましたので報告いたします。

1 期間 平成28年2月 9日(火) から
2月10日(水) まで

2 旅行先及び用務の概要

| 旅行先 | 用務の概要 |
|-----------|--|
| 福岡県三潁郡大木町 | おおき循環センターくるるん ・ 持続可能な循環のまちをめざして |
| 福岡市博多区祇園町 | ICTセミナー ・ タブレット操作 ・ 議会改革とタブレットについて |

無限21会派行政視察・研修報告書

報告者 田中 睦

日程 平成28年2月9日(火)～10日(水)
視察場所 福岡県三潞郡大木町 おおき循環センターくるるん
研修場所 福岡市博多区祇園町 博多祇園センタープレイス
内容 ICT推進セミナー受講
参加者 谷口眞次、藤本壽子、田中睦

視察の概要

持続可能な循環のまちをめざして：大木町の取り組み

1 大木町の概況

- ・筑後平野の中央部に位置し、水郷柳川に隣接した農業の町
- ・平成の大合併時にも近隣市町と合併せず、単独による行政経営を持続
- ・人口約14,600人、面積18.43平方キロ
- ・掘割が町の面積の14%、総延長215km
- ・特産品…イチゴ、シメジ、エノキ、花ごぞなど

◎住民と行政による協働のまちづくり

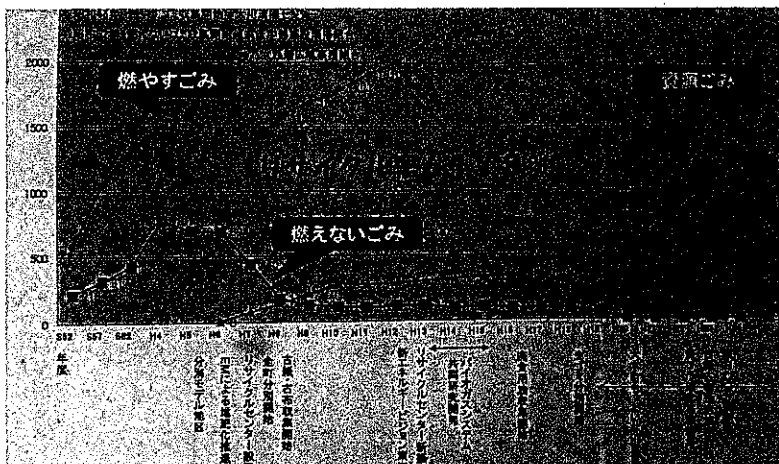
2 大木町もったいない宣言(ゼロウェイスト宣言)

「子どもたちの未来が危ない。

・・・私たちは、無駄の多い暮らし方を見直し、これ以上子どもたちに『つけ』を残さない町を作ることを決意し、・・・」(前文より抜粋)

2008.3.11 大木町議会議決

3 ゴミ収集量(家庭)の推移



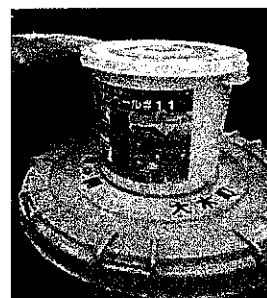
平成18年に循環センターができ、生ごみ分別が始まると、燃やすごみが激減した。

平成23.10月から紙おむつの分別を開始
建築用壁材などに再生

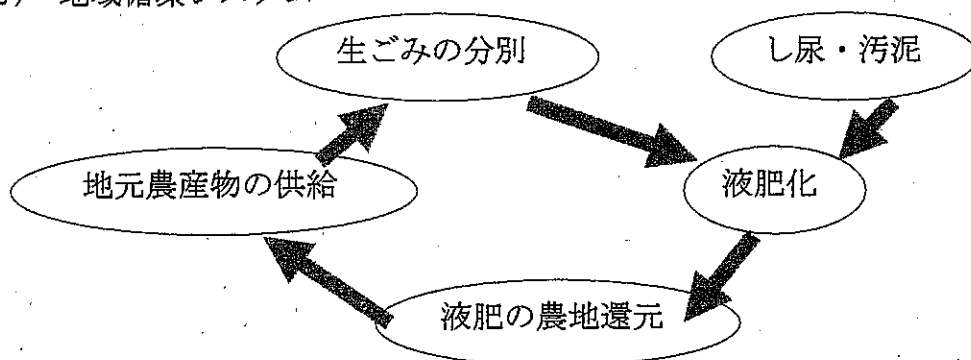
4 生ごみ循環事業の効果

(1) 生ごみ分別

- ・上の小さなバケツは、中に水切り容器が入っていて、全戸に配付される。よく水を切って、袋は使わず裸で回収される。異物混入率は1%以下
- ・下が収集バケツで、10世帯に1か所程度設置される。週2回の収集で、前日に収集場所に配られる。
- ・生ごみ処理は無料。事業所は10kg当り50円の処理費。



(2) 地域循環システム



(3) 事業の効果

- ・ごみ減量効果 (43%に減)
- ・地域の一体感 (地域ぐるみの協働事業)
- ・地域農業への貢献 (液肥の提供)
- ・環境負荷の低減
- ・ごみ処理費の削減 (8000万~9000万の減)
- ・地域雇用の創出 (バイオマスセンター、道の駅)

地域の活性化

5 「環 (わ) のシリーズ」を開発

- ・環境共生型特別栽培米「環のめぐみ」、菜種油「環のかおり」
- ・液肥利用と地産地消の推進

6 循環の町づくりの拠点「おい循環センターくるるん」

- 生ごみ・し尿・浄化槽汚泥をバイオマス資源化する施設
- 環境・農業・食をつなぐ まちづくりの拠点

「くるるん」はバイオマスセンター (メタン発酵施設や学習施設) と道の駅からなっている。道の駅「おおき」には農産物直売所「くるるん市場」、健康地域応援レストラン「デリ&ビッフェ くるるん」がある。

《感想》

「無駄をなくし、地域資源を活用し、次世代につけを残さない持続可能な町づくり」を目標に掲げる大木町は、環境に軸足を置く水俣と共通する点が多い。生ごみなどを循環利用するための施設・バイオマスセンターと、農産物直売所やレストランを備えた道の駅を併設しているので、資源の循環がそこを訪れる人の目に見える形になっているところが水俣より進んでいると感じた。

研修の概要

【自治体向けタブレット端末ICT推進セミナー】

テーマ 「ICT推進から始まる 自治体イノベーション」

1 特別講演「ICTで救急現場は変わるか？」

—佐賀県の救急車で*iPad*活用による成果と課題—

佐賀県総括本部 情報・業務改革課主査 円城寺雄介氏

救急の現場では、救急隊員が受け入れ可能な病院を探すのに「電話をかけまくる」状態
*iPad*の導入——患者の症状などから搬送先の病院を検索

病院と24時間以内の搬送実績の件数が表示

☆ 搬送時間の短縮につながった。

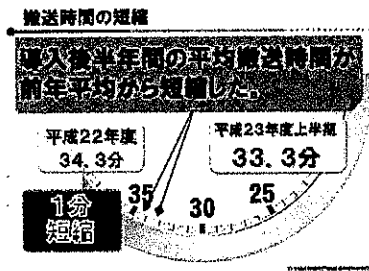
☆ 搬送する病院が特定の病院に集中することがなくなった。

・データ分析して政策に活かす

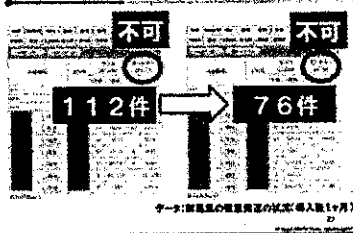
現場から病院到着までに時間がかかる地域がある。

これは、近くに病院がないことを表している。

このことからドクターヘリが導入されるようになった。



導入県では、受入不可件数が減少！



群馬県では受け入れ不可の件数が下がっている。



他の自治体でも同様のシステムを導入する動きがある。

2 議会改革とタブレットそしてSideBooks

東京インタープレイ

SideBooks：紙のようなめくり感が人気の無料PDF閲覧アプリ

SideBooks導入自治体が増加…2016年度中に100自治体に達する見込み

SideBooksに「クラウド本棚」…パソコンからクラウド本棚に文書を保存し、どこにいても閲覧できる。

全国初の「タブレット議会」に移行した逗子市

- 議会でタブレットの有効性を検証し、行政に提案
- 業務の効率化を実現
 - ・正確な情報が共有できる
 - ・印刷業務が大幅に減る
- 議員活動でタブレットが活躍
 - ・資料を使って説明
 - ・写真・動画を使った情報伝達
 - ・一般質問、議会報告会での活用

《感想》

ICT活用によりペーパーレス化ができ、情報を出す側も受ける側も便利になると思われる。パソコン、タブレット、スマートフォンなどでどこでも閲覧でき、ペーパーレス会議も可能になる。印刷・製本などの業務改善や経費削減にもつながるだろう。しかし、まだ入り口の話聞いた段階で、自分の中では消化できていない部分が多く、実用にはまだ時間がかかりそうだ。